Engineer データ

業種に合わせた専用AIエージェント

合意した業務に合わせ、社内システムにつながる専用AIエージェントを構築します。実例による評価、人の確認、範囲を限定したアクセスを備えます。

役に立つ業務の流れを一つ選び、それを中心にAIエージェントを構築します。接続するシステム、評価に使う事例、人が承認する操作、与えるアクセスを定めます。お客様の業務の専門家とその範囲を合意し、要件に基づいてモデルを選びます。モデルが変わっても、連携の実装と評価記録はお客様への納品物として残ります。

サービスを成果につなげる

「業種に合わせた専用AIエージェント」を事業の成果につなげましょう。技術的な作業を、それが支えるべき利用者、運用、意思決定に結び付けるお手伝いをします。 使用中のシステムに接続し、自社の専門家が用意した事例でテストし、自社の担当者が監督できる、特定のモデルに縛られないエージェントをつくります。

サービスを見る お問い合わせ →

関連する実績を確かめる

このページの関連実績から、私たちの取り組み方をご確認ください。それぞれの成果の背景にある条件や、何を優先して何を見送ったかについてもお尋ねください。 検査自体のテストを作成 — 正常報告に意味を持たせる検査自体のテスト

検査自体のテストを作成 お問い合わせ →

接続する：実際の仕事があるシステムへ

社内システムにアクセスできないエージェントは、話すことしかできません。ERP、CRM、予約システム、メールボックス、文書保管庫など、実際の仕事を行うシステムに接続します。それぞれに、船舶を調べる、見積書の下書きをする、案件を登録するといった、役割を限定して仕様を記述したツールを設けます。ツールはMCPまたはAPIで提供し、すべての入力に型を定めて検証します。社内記録が必要なエージェントは、利用できる形に整えたデータを読みます。過去の事例の記憶は、提供事業者のチャット履歴ではなく、お客様のデータベースに保持します。

評価する：専門家が用意した事例で

テストがなければ、「よくなった気がする」ことしか測れません。私たちは実務を担当する方々と一緒に、業種の実際の事例と、熟練者ならどう答えるかを書き出します。プロンプト、ツール、モデルの変更をすべて、公開前に全事例で検証します。事例ごとの評価を継続して記録し、合意した事例で回答の劣化を見つけやすくします。自分たちのコードに適用している品質ゲートを、エージェントの回答に適用するものです。

監督する：重要な箇所は人が判断する

すべての操作をエージェントだけに任せるべきではありません。単独で行ってよいこと、人が承認するための下書きをすること、決して触れてはいけないことを、お客様と文書にまとめます。ルールはプロンプトでお願いするのではなく、ツールで強制します。確認画面には、エージェントの提案と理由を表示します。そこで加えた修正は、新たなテスト事例になります。すべての手順をOpenTelemetryで追跡するため、回答に誤りがあれば、どのツール、どの文書、どのモデルから生じたかを確認できます。

モデルは **借りて使う部分です** — 事例、ツール、ルールはお客様が所有する部分です。

モデル固有のコードを明確なインターフェースの内側に置き、モデル変更の評価と範囲の確定をデプロイ前に行えるようにします。

展開前にモデル変更を評価する

連携の仕組みが対応する場合、モデルの選択は設定として扱います。合意した事例を使い、候補のモデルを、回答品質、失敗時の挙動、費用、遅延で比較します。その評価をデプロイの判断材料にします。新しいモデルが、業務を自動的に改善するとは限りません。変更は、合意したレビューと展開の手順を通し、以前の設定をロールバックに使える状態で保持します。

取り組みを裏付ける実績

エージェントを信頼できるものにする習慣は、私たちが日頃のエンジニアリングで守っている習慣と同じです。268のコミット検査からなる検査エンジンと、警告という段階を設けない22のリンターによるコミットゲートを構築し、何も読まない検査が問題なしと報告できないよう、検査ツール自体のテストを書きました。自社で管理するエラー監視とトレースを構築し、六つの収集処理に読み飛ばしたものを明示させ、開発全体を51の文書化された取り組みとして運営し、それぞれに測定結果と見送った判断を記録しました。このサイトのエージェント対応も、同じ進め方で構築しています。

ご依頼の進め方

一つの業務と、その事例から始めます。実務を担当する方々と一緒に、正しい回答を添えて三十から五十の実例を書き出し、エージェントが単独で行ってよいことを合意します。次に、確認画面を備え、その事例を通過する最小限のエージェントを、お客様のインフラまたはクラウドアカウントに構築し、必要な範囲にアクセスを制限します。その後、次の業務に進みます。コード、事例、データはお客様が所有するため、基盤となるモデルが変わっても、エージェントはお客様のものとして残ります。他の仕事と同じく、料金に記載する条件でご依頼いただけます。

エージェントに任せたい業務がありましたら、その内容をお聞かせください。

誰かの仕事を **一つ引き受けるエージェント** **を** — 信頼して任せる前に、評価しましょう。

まず、実務を担当する方々と一緒に、その業種の実際の事例を三十から五十件用意します。

一つの業務について相談する 料金 →

発注前に業務範囲を定める

業務の流れ、既存のインターフェース、変更を必要とする利用者をお知らせください。検証可能な納品内容と、お客様のチームが保守を続けられる引き継ぎ内容を定められます。

料金を見る お問い合わせ →

要件について話し合う

「業種に合わせた専用AIエージェント」に求めることを、納期や保守を担当するチームも含めてお聞かせください。実行可能な進め方をご相談いただけます。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く

連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://data.engineer.company/ja/ai-agents/